


<p><b>事業名</b></p>	<p>区民による事業提案制度</p>
<p><b>セールスポイント</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島区民が事業提案し、区民により投票で選定する制度で8月1日～9月15日の募集の結果、233件の提案が寄せられた。</li> <li>・提案内容の審査を経て、10月20日より区民投票を実施。(11月10日まで)</li> </ul>

<h2>事業の内容</h2>	
<p>1. 区民投票を行う提案の選定 区民の皆様より寄せられた233件の提案について区で審査を行い、区民投票にかけ提案を選定した</p> <p>2. 区民投票の実施</p> <p>(1) 投票期間 10月20日(金)～11月10日(金) ※必着</p> <p>(2) 投票できる方 投票日時点において豊島区内にお住いの方 ※ 区職員・区議会議員等は対象外</p> <p>(3) 投票方法</p> <p>【インターネット投票】 区ホームページに投票用サイトを開設(右二次元コード)</p> <p>【郵送投票】 区施設(区民事務所・区民ひろば等)に設置したチラシの投票用紙部分に記入の上、郵送。</p> <p>(4) 最終発表 令和6年度予算案発表において発表</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <p>(郵送先) 〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1 豊島区企画課 「区民による事業提案制度」担当 行</p>
<p>区民投票を行う提案は以下のとおり。 詳細は「別紙」をご確認ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 公園に日避けを作ってほしい/公園の日陰化</li> <li>② としまアートカルチャー体験ツアー</li> <li>③ 空き店舗活性プロジェクト</li> <li>④ 道路予定地の有効活用</li> <li>⑤ メタバース空間を活用した引きこもり、不登校対策</li> <li>⑥ スポーツのチカラで子どもたちの健康な未来を築こう!</li> <li>⑦ としまベンチプロジェクト</li> <li>⑧ 介護トライアル体験</li> <li>⑨ 区民が運営する、多文化共生センター事業</li> <li>⑩ みんなで様々な国のご飯を食べる事業</li> </ol>	

<p><b>今後の見通し</b></p>	<p>(10月20日～11月10日) 区民投票 (令和6年2月) 選定事業発表 (令和6年2月～3月) 令和6年度予算案審査</p>
----------------------	--

<b>事業名</b>	としま文化の日 (池袋ハロウィンコスプレフェス 2023・アニメイトガールズフェスティバル 2023・アニメ東京ステーション・としまデジタルラリー)
<b>セールスポイント</b>	・マンガ・アニメ・コスプレを一つの核とした国内外から広く人を呼び込むシティプロモーションを展開。 ・10周年を迎える「池袋ハロウィンコスプレフェス」では、ルートを拡大したパレードを実施。 ・「アニメイトガールズフェスティバル」に合わせ、池袋乙女マップも5年ぶりに更新。 ・「アニメ東京ステーション」がオープンし、勢いを増すマンガ・アニメ・コスプレの聖地として、民間企業8社とアニメ東京ステーションを含む公立施設で「としまデジタルラリー」を開催。

## 事業の内容

### 1. 事業実施に至った経緯、背景など

豊島区では、文化によるまちづくりを推進し、次世代に継承するため、令和2年に「としま文化の日」を独自に制定。毎年11月1日を「としま文化の日」、11月1日～7日を「としま文化推進期間」と定めた。

4年目を迎える今回は、「誰もが主役になれる、日常にアート・カルチャーが溢れるまち」をテーマに、明るくポップな雰囲気とし、「豊島区の素敵な文化が若い世代にぜひ伝わってほしい」という思いを込めて、キービジュアルを更新した。

### 2. 目的

多彩なカルチャーで魅力溢れる豊島区の周知

マンガ・アニメ・コスプレを一つの核にしたシティプロモーションを実施し国内外から広く人を誘致

### 3. 内容

#### ●池袋ハロウィンコスプレフェス2023 10月28日(土)、29日(日) 10:00～18:00

今年10周年を迎える日本最大級のコスプレイベント。

今年は「Hareza 池袋前」から「サンシャイン60通り」までパレードのルートを拡大。

アンバサダーに就任した小林幸子さんも、コスプレでセレモニーやパレードに参加予定。

豊島区在住の小学生と未就学児のお子様は無料で参加できるキッズチケットを新設。

会場の周辺のゴミ拾う「まちキレイ」プロジェクトを実施。コスプレイヤーさんと区職員でお揃いの軍手を付けて、受動喫煙防止キャッチコピーのついたゴミ袋でゴミ拾いを実施。

#### ●アニメイトガールズフェスティバル2023 11月3日(金)、4日(土)

乙女たちが訪れたい店舗やカフェなどを紹介する「乙女マップ」を5年ぶりに更新。11月4日から配布。

#### ●アニメ東京ステーション 10月31日グランドオープン

アニメに関する様々なコンテンツが収蔵。アニメ制作過程の体験もできる。

#### ●としまデジタルラリー 10月28日(土)～12月28日(木)

「マンガ・アニメ・コスプレ」を核にした、区内の回遊性を高めるシティプロモーション第一弾。

区内を拠点とする民間企業8社と「アニメ東京ステーション」を含む公立施設4館の、全12施設がタッグを組んで実施する。

<p><b>事業名</b></p>	<p>ゆりかごオンライン面接</p>
<p><b>セールスポイント</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで、体調や里帰りなどで対面でのゆりかご面接が出来なかったかたに、オンライン相談の実施</li> <li>・お申込みから、面接までスマートフォン一つで完結</li> <li>・妊娠期から子育て期までの、切れ目のない支援の拡充</li> </ul>
<p><b>事業の内容</b></p>	
<p>1. 事業実施に至った経緯、背景など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度より、妊婦に対し妊娠中の様々な不安を軽減し、安心して出産を迎えていただくために、助産師・保健師による「ゆりかご面接」を対面で実施していた。</li> <li>・一方、体調不良等で来所困難な妊婦が毎年一定数おり、さらに、コロナウイルス拡大により、対面面接が困難になるなど社会的背景もあった。</li> <li>・過去4年間の平均実施率は69.3%であり、非対面の実施が求められていた。</li> <li>・令和3年度より区民相談課や福祉総務課でオンライン相談を開始した。同スキームの活用により、他課での活用事例を活かし、かつ、導入費用を最小限に抑えることが可能である。</li> </ul> <p>2. 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン面接により、子育て手続きのデジタル化を推進するとともに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の充実を図る。</li> </ul> <p>3. 内容</p> <p>「ビデオトーク powered by 空電」を活用したオンライン相談（NTTコム オンライン）</p> <p>→面接日の1週間前までに長崎健康相談所(03-3957-1191)に電話で予約。</p> <p>面接前に豊島区ホームページより、ゆりかご質問票への回答を求める。</p> <p>面接日当日、予約時に聴取した携帯電話番号宛にSMSを送信し、ビデオトークの招待を送る。</p> <p>オンライン面接を終了した妊婦に出産応援ギフトの申請書を郵送し、妊婦が申請書を郵送し、申請受付する。</p> <p>4. 対象</p> <p>ゆりかご面接時豊島区に住民票があり妊娠届を提出し、以下の条件に該当する方を対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①切迫早産等で入院している、または医師等から自宅安静が必要と言われている方</li> <li>②里帰り出産などで来所できない方</li> <li>③その他オンライン面接が必要と認められる方</li> </ul> <p>5. 区民の費用負担</p> <p>通信料のみ</p>	
<p><b>今後の見通し</b></p>	<p>対面面接に加えオンライン面接を実施することで、産婦に対する相談体制の充実及び虐待防止の推進を図る。</p>

事業名	豊島区・秩父市 姉妹都市提携 40 周年記念事業
セールスポイント	埼玉県秩父市との姉妹都市提携 40 周年記念事業を行うことで両都市の絆と各々の魅力を多くの区民・市民に知ってもらい、関係人口の創出につなげる。

## 事業の内容

### 1. 事業実施に至った経緯、背景など

昭和 55 年に両自治体の観光協会同士が姉妹関係を結んだことを契機に行政同士の交流が始まり、昭和 58 年に姉妹都市提携を締結した。以降 40 年間に渡りスポーツ団体によるスポーツ交流、高齢者クラブによる親善交流、秩父市の市有林においての森林整備事業など様々な連携事業を行ってきた。

近年(令和元年から)では森林環境譲与税を活用し、秩父市の市有林においての森林整備事業も実施している。整備された区域は「としまの森」と名付けられ、区民参加型の環境交流ツアーも実施している。

### 2. 目的

両自治体で2週に渡りイベントを開催することで姉妹都市としての両自治体の絆の強さや、各々の都市の魅力を多くの区民、市民に感じてもらい、産官学に渡る相互の交流がより活発になることを図る

### 3. 内容

#### イベント①

タイトル:ちちぶ×としま マルシェ

日時:令和5年11月3日(金・祝) 11時~16時

内容:西武レクリエーション(株)が例年開催している秩父マルシェに40周年記念として豊島区がコラボレーションする。秩父市からは名産品が楽しめるマルシェのほか、秩父の伝統芸能である秩父屋台囃子(ちちぶやたいばやし)が披露される。豊島区は豊島区の伝統工芸士・齋藤小風(さいとう こかぜ)さんによる「つまみ細工」のワークショップや、豊島区を代表する東京よさこいチームがパフォーマンスを披露する。

#### イベント②

タイトル:豊島区・秩父市 姉妹都市提携 40 周年記念コンサート

日時:令和5年11月11日(土) 15 時 50 分~17 時

内容:区在住の音楽家「青島広志」氏と、秩父高等学校・秩父農工科学高等学校の吹奏楽部をお招きし、記念コンサートを開催する。青島広志氏は、コンサート全体のプロデュースや秩父市の高校生たちへレクチャーも行う。

### 4. 対象

事業に関心のある全ての方

今後の見通し	40 周年として両都市の絆を更に強め 50 周年に向けて新たな関係構築も模索していく
--------	--

豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

事業名	福祉救援センター初動訓練
セールスポイント	福祉救援センターの初動の動きを関係機関で確認し、意識合わせをすることで、発災時の要援護者の対応を滞りなく行うことができる。
<b>事業の内容</b>	
<p>1. これまでの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"><li>令和3年10月～ 福祉救援センター検討部会として検討を開始 (現在は、部会メンバーとして、区職員の他に、特別養護老人ホーム施設長3名、訪問介護事業所職員1名、通所介護事業所職員1名が参加)</li><li>令和5年4月 豊島区介護事業者災害対策連絡協議会 設立 ※187事業所参加(10月10日時点)</li><li>令和5年6月 福祉救援センター開設・運営マニュアル(たたき台) 完成</li><li>令和5年7月11日 豊島区介護事業者災害対策連絡協議会と災害時の協定を締結</li><li>福祉救援センター開設・運営マニュアル(たたき台)の完成、豊島区介護事業者災害対策連絡協議会との災害時の協定締結を経て、関係者間でこれまで検討してきた内容を確認するために、民間事業者と合同で実施することとなった。</li></ul> <p>2. 目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>発災後の初動や、福祉救援センター・介護サービス事業所との連絡調整方法等の確認</li><li>現在作成中の「福祉救援センター開設・運営マニュアル」および様式の内容確認</li><li>庁内の連携体制の確認</li><li>福祉救援センターの立ち上げから要援護者受け入れまでの工程の確認</li></ul> <p>3. 内容</p> <p>発災から2日程度を断片的に、福祉救援センターの立ち上げ準備、立ち上げ、要援護者の受け入れまでの流れを、区、福祉救援センター(特別養護老人ホーム)、介護サービス事業所で、関係機関ごとに確認していく。</p> <p>4. 参加者</p> <ul style="list-style-type: none"><li>区職員(防災危機管理課、福祉総務課、高齢者福祉課、介護保険課) 15名程度</li><li>特別養護老人ホーム職員 10名程度</li><li>介護サービス事業所職員 10名程度</li></ul> <p>5. 福祉救援センター(介護型)の概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「災害時における福祉救援センター(介護型)の設置及び運営に関する覚書または協定」等に基づき、災害発生時に区内10か所の特別養護老人ホームに福祉救援センターの開設と要配慮者の受け入れについて協力を要請する。</li><li>受け入れ対象は、高齢者の要援護者(要介護3以上の方)のうち、一般の救援センターでは生活に著しく支障をきたす、いわゆる寝たきりの方と、その家族等支援者1名。</li><li>まず、最寄りの救援センターに避難し、そこで改めて保健師などにより福祉救援センターへの移動が適当と判断された方が福祉救援センターに移動する流れ。</li></ul>	
今後の見通し	福祉救援センター開設・運営マニュアルおよび様式を精査し、特別養護老人ホーム・介護サービス事業所に周知する。



<b>事業名</b>	見守りと支え合いネットワーク事業に関する協定
------------	------------------------

<b>セールスポイント</b>	官民連携で高齢者の見守りを行うことで、きめ細やかな支援に繋げることができる。
-----------------	--

## 事業の内容

### 1. 事業実施に至った経緯、背景など

- ・ 豊島区は65歳以上人口に占める単身世帯の割合(35.6%)と75歳以上人口に占める単身世帯の割合(38.1%)がともに全国区市1位である。(2020年国勢調査結果より)
- ・ こうした現状を踏まえて豊島区では3つの見守り体制を構築。

1つ目は「専門的な見守り」。実施主体は高齢者総合相談センターで、主に窓口での相談支援やアウトリーチ活動による見守りを行っている。

2つ目は「担当による見守り」。実施主体は民生児童委員や見守り訪問員(委託)などで、主に熱中症対策事業や高齢者実態調査などの戸別訪問を実施している。

そして、3つ目は「緩やかな見守り」。実施主体は見守り協定締結先の事業者で、日常業務の範囲内で高齢者に何か異変を発見した場合は区及び高齢者総合相談センターに連絡を行う。今回、新たに10事業者と協定を締結することで、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができ、さらなる高齢者の見守りを強化する。既存の協定締結事業者と合わせて32事業者となる予定。

### 2. 目的

豊島区と区内等で活動されている事業者が連携し、高齢者やその家族への緩やかな見守り等を推進することで高齢者等が住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できる地域社会を実現させる。

### 3. 協定内容

- (1) 高齢者等に対する「緩やかな見守り」の実施
- (2) 認知症の人やその家族を支える地域づくりへの協力
- (3) 高齢者等の消費者被害の防止
- (4) その他地域活動支援等

### 4. 協定式の概要

- (1) 日時:令和5年11月10日(金) 13:00~
- (2) 場所:としまセンタースクエア
- (3) 協定締結事業者(予定):10事業者 ※詳細は下図のとおり

株式会社ファミリーマート	東京都美容生活衛生同業組合 長崎支部
株式会社シニアライフクリエイト	みずほ銀行
東京都公衆浴場商業協同組合 豊島支部	三菱 UFJ 銀行
東京都理容生活衛生同業組合 豊島支部	三井住友銀行
東京都美容生活衛生同業組合 豊島支部	朝日信用金庫

<b>今後の見通し</b>	将来確実に高齢者人口が増えることが予想されているため、見守りが必要な全ての高齢者が見守られている状態を目指し、引き続き多種多様な事業者への協定締結を図る。
---------------	---